

# 衣類の洗濯表示を チェックしましょう



2016年12月から、衣料品に付けられている洗濯記号が新しくなりました。これまでの「JIS(日本工業規格)取扱い絵表示」から、「ISO(国際規格)」の記号に統一されました。洗濯による衣類のトラブルを避けるために、洗濯表示の正しい意味を知り、洗濯の前には衣類の取り扱い表示タグなどを確認するようにしましょう。

NEW!  
新しく  
なりました!

保存版



衣類を大切にするために、  
新しい表示を知って上手に洗濯をしましょう

大 玉 村

# 新しい洗濯表示をチェックしましょう

## 洗濯のしかた

表示よりも弱い範囲で洗濯しましょう

新しい洗濯表示は、これまでの「指示（推奨）表示」から「上限表示」になりました。表示よりも強く洗ってしまうと、衣類にダメージを与えてしまう可能性があるため、表示より弱い範囲での洗濯を心がけましょう。

### 正しい手洗いの方法

〈押し洗い〉



セーターなど、かさがあるものに適しません。畳んだ洗濯物の上から手のひらでやさしく押しは軽く持ち上げるを繰り返して洗う方法です。

〈振り洗い〉



しわになりやすい薄手のブラウスやスカーフは、畳まずに軽く前後左右に振って洗います。

### 洗い方（水洗い）



液温は40℃を限度とし、洗濯機で洗濯ができる



液温は40℃を限度とし、洗濯機で弱い洗濯ができる



液温は40℃を限度とし、洗濯機で非常に弱い洗濯ができる



液温は40℃を限度とし、手洗い※ができる



家庭での洗濯禁止

※手洗いには振り洗い、押し洗いおよびつかみ洗いがあります。

## 漂白のしかた

幅広く使うなら酸素系の液体漂白剤

漂白剤には塩素系と酸素系の2種類があります。新しい洗濯表示では、その衣料にどの種類の漂白剤が使えるのかが表記されています。記号や付記用語を確認して、使用可能な漂白剤を適切に使いましょう。

### 塩素系漂白剤

塩素系漂白剤が使用できるのは、綿・麻・ポリエステル・アクリル素材の白物衣料品に限られます。

### 酸素系漂白剤

#### 液体タイプ

酸素系で液体タイプの漂白剤は、白物衣料品に加えて色柄物衣料品にも使用することができます。

#### 粉末タイプ

酸素系で粉末タイプの漂白剤は、白物衣料品に加えて色柄物衣料品に使用できません。毛や絹の素材には使用できません。

### 漂白のしかた



塩素系および酸素系の漂白剤を使用して漂白ができる



酸素系漂白剤の使用はできるが、塩素系漂白剤は使用禁止



塩素系および酸素系漂白剤の使用禁止

## アイロンのかけかた

これまでのアイロンはそのまま使えます

新しい洗濯表示はアイロンの底面温度の上限を示しています。新しい記号が示す上限温度はこれまでの温度よりも10℃ずつ下がりましたが、従来のアイロンに示された「高・中・低」の温度調節をそのまま使えます。

### 「あて布」記号はなくなりました

新しい記号に「あて布」記号はなく、付記用語で「あて布使用」などと併記されます。タグなどをよく確認しましょう。



### アイロンのかけかた



底面温度200℃を限度としてアイロン仕上げができる



底面温度150℃を限度としてアイロン仕上げができる



底面温度110℃を限度として、スチームなしでアイロン仕上げができる



アイロン仕上げ禁止

5つの基本記号を覚えましょう

5つの基本記号



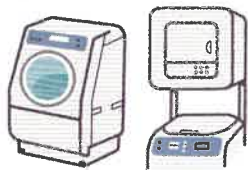
付加記号

強さ	線なし	—	==	× 禁止
	通常	弱い	非常に弱い	
温度	●	●●	●●●	
	低温	中温	高温	

## 乾燥のしかた

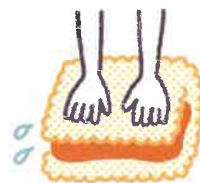
「タンブル乾燥機」とは回転と熱風で乾かすもの

洗濯記号の説明に出てくる「タンブル乾燥機」の意味は、機械の中で洗濯物を回転させながら熱風をあてて乾燥させるタイプの乾燥機のことです。洗乾一体型洗濯機や回転式衣類乾燥機がこれに相当します。



「ぬれ干し」はタオルドライしてからが良い

新しい洗濯表示の「ぬれ干し」は、洗濯機による脱水やねじり絞りをしないで干すという意味です。水がポタポタとたれ落ちて困る場合には、右図のようにタオルドライをしてから干しましょう。



### 乾燥のしかた

タンブル乾燥



タンブル乾燥ができる  
(排気温度上限80℃)



低い温度でのタンブル乾燥ができる  
(排気温度上限60℃)



タンブル乾燥禁止

自然乾燥



つり干しがよい



日陰のつり干しがよい



ぬれつり干しがよい



日陰のぬれつり干しがよい



平干しがよい



日陰の平干しがよい



ぬれ平干しがよい



日陰のぬれ平干しがよい

## クリーニングの出しかた

クリーニングにも種類があります

衣類の中には家庭での洗濯が禁じられているものもあります。クリーニングに出すときにも種類があるので洗濯表示を確認しましょう。

ドライクリーニング

型崩れの恐れがあり水洗いできない衣類は、パークロロエチレンや石油系溶剤などの有機溶剤を使って汚れを落とします。

ウエットクリーニング

専門家による特殊な技術で行う、洗いから仕上げまでを含む水洗いです。

### クリーニングの種類

ドライクリーニング



パークロロエチレンおよび石油系溶剤によるドライクリーニングができる



パークロロエチレンおよび石油系溶剤による弱いドライクリーニングができる



石油系溶剤によるドライクリーニングができる



石油系溶剤による弱いドライクリーニングができる



ドライクリーニング禁止

ウエットクリーニング



ウエットクリーニングができる



弱い操作によるウエットクリーニングができる



非常に弱い操作によるウエットクリーニングができる



ウエットクリーニング禁止

# これまでの洗濯表示

## 洗い方 (水洗い)

	液温は95°Cを限度とし、洗濯機による洗濯ができる
	液温は60°Cを限度とし、洗濯機による洗濯ができる
	液温は40°Cを限度とし、洗濯機による洗濯ができる
	液温は40°Cを限度とし、洗濯機の弱水流または弱い手洗い*がよい
	液温は30°Cを限度とし、洗濯機の弱水流または弱い手洗い*がよい
	液温は30°Cを限度とし、弱い手洗い*がよい (洗濯機は使用できない)
	水洗いはできない

\*弱い手洗いには振り洗い、押し洗いおよびつかみ洗いがあります。

## 塩素漂白の可否

	塩素系漂白剤による漂白ができる
	塩素系漂白剤による漂白はできない

## アイロンのかけかた

	アイロンは210°Cを限度とし、高い温度(180~210°Cまで)でかけるのがよい。
	アイロンは160°Cを限度とし、中程度の温度(140~160°Cまで)でかけるのがよい
	アイロンは120°Cを限度とし、低い温度(80~120°Cまで)でかけるのがよい
	アイロンがけはできない

## ドライクリーニング

	ドライクリーニングができる。溶剤はパークロロエチレンまたは石油系のものを使用する
	ドライクリーニングができる。溶剤は石油系のものを使用する
	ドライクリーニングはできない

## 絞り方

	手絞りの場合は弱く、遠心脱水の場合は、短時間で絞るのがよい
	絞ってはいけない

## 干し方

	つり干しがよい
	日陰のつり干しがよい
	平干しがよい
	日陰の平干しがよい



## クリーニングでのトラブルを防ぎましょう

衣料をより良い状態に保つために、クリーニングに出すときは右の点に注意しましょう。もしもクリーニングした衣料に不具合が生じた場合には、クリーニング店が損害賠償を負う制度があります。店とトラブルになった場合は、消費生活センターに相談しましょう。

### クリーニングに出す前のチェックリスト

- ポケットの中を空にする
- セットものは一緒に出す
- 取り扱い表示を確認する
- 気になる汚れやシミを伝える
- シミやしわの状態を確認する
- 預かり票を確認する
- 装飾品は取り外しておく
- 仕上がったら袋を外し暗所に保管

おかしいな、困ったなとおもったら、  
すぐ☎188 (いやや!) にご相談ください